

平成 29 年 4 月 20 日

東京都港区海岸 1-15-1 スズエベイディアム 5 階株式会社 D N A チップ研究所代表 取締役社長 的場

(コード番号 : 2397 東証第2部)

問合せ先 : 総務課長 大塚 勉

電話番号 : 03-5777-1700 (代表)

業績予想と実績との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成29年3月期(平成28年4月~平成29年3月)において下記の通り特別損失を計上するとともに、平成28年4月21日に公表した平成29年3月期の業績予想と実績に差異が生じましたので知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績との差異(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(1)業績予想と実績との差異

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純
					利益
前回発表予想(A)	480	1	1	0	0円00銭
今回修正予想(B)	324	$\triangle 152$	$\triangle 151$	$\triangle 211$	△50円 01 銭
増減額 (B-A)	$\triangle 155$	$\triangle 153$	$\triangle 152$	$\triangle 211$	△50円 01 銭
増減率(%)	$\triangle 32.4$	_	_	_	_
(ご参考)					
前期実績	284	$\triangle 178$	△178	$\triangle 203$	△47円92銭
(平成 28 年 3 月期)					

(2) 業績予想と実績との差異の理由

通期業績予想の売上高につきましては、診断事業において今期に受注を見込んでいた製薬関連の 大型案件の受注時期が翌期へとずれ込んだこと、また、診断事業において新規サービスのリリース が遅れたことなどが影響し、売上未達となりました。

営業利益及び経常利益につきましては、上記売上高の減少に加え、診断サービスの新規メニュー 開発のための研究開発費が大きく増加することなどにより、前回予想に対し未達となりました。

また、当期純利益につきましては、営業利益及び経常利益に加えて、減損損失を含む特別損失の発生も含めて、前回予想に対し未達となりました。

2. 特別損失の計上について

当社は、平成 29 年 3 月期におきまして、上記の業績予想の修正に基づき、将来の回収可能性を 検討した結果、第 4 四半期において、東京都港区に保有する研究施設及び事務所の固定資産の帳簿 価額を減額することとし、特別損益として減損損失 59 百万円を計上いたしました。